

令和7年度指定管理運営業務評価票

I

評価項目

施設名称：大阪府立国際会議場		指定管理者：（株）大阪国際会議場		指定年度：平成31年4月1日～令和11年3月31日		所管課：府民文化部 都市魅力創造局 企画・観光課		
※黄色網掛部分：R7年度目標								
評価項目		評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞		指定管理者の自己評価		評価 S～C	施設所管課の評価 評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	○ 国際会議等の誘致・開催を通じて、大阪の地域活性化に貢献するという施設の目的に沿った運営がなされているか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】		・2,500万人以上が来場した「2025年大阪・関西万博」が大盛況のうちに閉幕した。当会議場においても、海外から多くのお客様をお迎えし、国際会議や国際ビジネス交流会など多彩な催事を開催いただいた。また、MICEの後、アフターコンベンションとして、多くの来場者が夢洲の万博会場を訪問された。 この万博の機会を活かし、国際的なMICEの誘致に注力した結果、今年度、開催される国際会議の件数が、中期経営計画の目標である70件を超え、開業以来最多となる72件（これとは別に2カ国間開催は5件）に達する見込みとなった。誘致ノウハウのさらなる可視化や誘致すべき学会のターゲット化等を進め、今後も国際会議の誘致を一層強化していく。 「アジア有数の都市型MICE施設」に向け、引き続き「すべてのお客様にご満足いただける空間を提供したい」という思いで運営するとともに、大阪府・市・経済団体等と連携して、「アジア・大洋州地域でトップクラスのMICE都市大阪」の実現を目指し、中心的な役割を果たしていく。		A	2025年度は、国際会議の開催件数が72件となる見込みなど、国際会議場に多くの人が来場した。また、誘致すべき学会を絞りこんだ営業活動に取り組み、国際会議の誘致も進めているところ。 これらの取組みは、国際会議の開催を通じて、大阪の地域活性化に資する運営をしていると評価できる。	A
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果 (3) 国際会議の誘致・開催等の取組内容、手法及び実現可能性	○ 公の施設であることを踏まえ、公平・平等な利用がなされているか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ■ 国際会議の誘致方針 ○ 同種施設の動向や今後のコンベンション等の需要を見据えた戦略的な取組が適切に実施されているか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】		・利用申込から利用承認さらに終了後のアンケートの照会・回答までオンライン化したWEB申込手続きについては、9割以上のお客様にご利用いただいている。 ・国際会議の需要は、大阪・関西万博とともに高まりを見せた。 ・大阪府・市、大阪商工会議所、JETRO大阪等と連携して、万博を契機とした国際会議や国際的なイベントを大阪に誘致し、その結果、万博参加国やその自治体が開催する国際的な会議が当会議場で開催された。 ①「英国グレーター・マンチェスター&大阪 新たなビジネス連携の創出」（6月） ②「日・ケニア ハイレベル・ビジネスフォーラム」（6月） ③「北ドイツのイノベーション先進都市・ハンブルクのビジネスチャンス」（6月） ④「日・セネガルビジネスフォーラム」（8月） ⑤「MedTech Actuator Showcase Japan 2025」（9月） ・10月に開催された「サステナブルシーフード・サミット2025」は、多数の国や地域からの来場者が参加する、アジア最大級の持続可能な水産業の実現を目指すイベントで、2015年の初開催以来、開催地は東京であったが、万博を契機に、大阪へ誘致することができた。 また、万博開催を機会に多くの海外の関係者が当会議場を視察に訪問され、万博閉幕後も海外から三団体からの視察を受け入れた。 ・MICE都市大阪をリードする取り組みとして、6月に約1万7千人(1日当たり)が参加された第70回日本透折医学会学術集会・総会が、当会議場を中心とした中之島エリアの計5施設で3日間にわたり開催された。今後も、中之島エリアにおいて参加者が1万人を超える大型MICEが開催可能な「中之島エリア MICE」をアピールしていく。 また、昨年に引き続き、国内外の展示会に出展した。国内においては、大阪観光局と大阪国際経済振興センター及び当社が共催して、JAPAN MICE EXPO2025（11月27日～28日）をインテックス大阪にて開催した。今回は、当会議場の特別会議場において、海外バイヤー26名を歓迎するウェルカムレセプションを実施し、日本の伝統芸能である能楽を間近でご覧いただいた。展示会では約40件の商談等を行った。 ・アフターコンベンションについては主催者への提案に努め、「IEEE Global Conference on Consumer Electronics（9月）」では来場者向けに中之島クルーズが開催され、昨年度からスタートした当会議場とUSJとの連携プランが、「The 38th Annual and International Meeting of the Japanese Association for Animal Cell Technology（第38回日本動物細胞工学会 2025年度国際大会）」に採用され、会議終了後、USJで懇親会が行われた。 ・高まるサステナビリティへの要望に対応すべく、有機エレクトロニクス・フォトニクスに関する国際会議「KJF-ICOMEP2025（8月）」では、自然環境に配慮し、公正な取引によって調達されたコーヒー豆を使用した「SDGs コーヒー」を提供した。 ・国際会議誘致のための海外ネットワーク構築に向けて、IMEX Frankfurt 2025（5月）にインテックス大阪と共同出展した。また、韓国ソウル市で開催されたKOREA MICE EXPO（11月3日～5日）にパシフィコ横浜と共同出展し、約30件の商談等を行ったほか、台湾で開催された「アジアMICEリンクアップ - ICC 台南（9月18日～22日）」にも初めて参加した。 （参考） ・2026年度から、「大阪府市国際会議開催助成金制度」が開始予定。大阪府、大阪市により、大阪で国際会議を開催する主催者に最大3,000万円の助成を行う制度であり、府・市の予算案が発表される2月以降、周知、広報に努める予定。 ・中之島の地元企業等が、万博の機会に大阪を訪れる皆様に、イベントや美術展等を展開する「中之島パビリオンフェスティバル」の秋プログラムが9月27日から10月13日まで開催された。この一環として、大阪市により、「Luup」や「HUBchari」を活用する実証事業が実施され、当社も参加した。 また、本フェスティバルの集大成として、実行委員各社が創造的な発展を宣言する「中之島宣言」が開催された。大阪市中央公会堂の前では中之島を面白くするアイデアを持ち寄り交流する「NAKANOSHIMA LONG TABLE」が開催され、中之島の未来について多くの方々考えていただく機会を設けることとなった。 ・当社オリジナルの散策マップ「グランキューブ大阪から始まる中之島マップ」を作成し、中之島に立ち並ぶ美術館や近代建築を解説するとともに、グランキューブ大阪を起点とするミニ散策コースを紹介した。主催者向けの印刷物のほか、ホームページに日本語版と英語版を掲載している。		A <		

	○ 施設及び周辺エリアの特性を活かした取組みが適切に実施されたか ・「中之島MICEアライアンス」の取組み ・「中之島エリアMICE」の形成 ・中之島の活性化への貢献 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 誘致の実現に効果的な支援等が適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：S】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ MICE関係団体や主催者との連携が適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 大阪のMICE拠点として、政府系国際会議や国際機関や国際団体の会議を誘致する取組みが適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：S 所管課：A】 R5年度【指定管理者：S 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	具体的な取組みは、1（3）で記載の通り。 ・国際会議誘致開催支援制度を活用し、「第47回日本食品微生物学会学術集会（2026）」、「一般社団法人日本非破壊検査協会 2026年度秋季講演大会」、「SSDM2027固体素子および材料に関する国際会議」を誘致した。 ・具体的な取組みは、1－（3）で記載の通り。 ・政府系では、「日・ケニア ハイレベル・ビジネスフォーラム」、「日・セネガルビジネスフォーラム」が開催され、また、グレーター・マンチェスター（英国）、ハンブルク（独）による国際ビジネス交流会が開かれた（再掲）。 ・国際団体では、電力システムに関する国際的コミュニティCIGREの「CIGRE SC B5 2025 Osaka Colloquium」が7月に開催され、家電業界における国際団体IEEE CTSocによる「IEEE Global Conference on Consumer Electronics」が8月に開催された。 ・10月に開催された「サステイナブルシーフードサミット2025」は「地球の自然システムを保全・回復すること」を目的とする国際的な財団であるデイビッド・アンド・ルシー・バックード財団が共催しており、また、11月に開催されたICMSET2025&ICME2025（第14回国際材料科学・工学技術会議）は、科学と工学分野における国際教育と大学協力の促進に資する国際団体である南アジア科学工学研究所（SAISE）が主催したものである。	A A A	中之島エリアの周辺施設と協力と連携のもと、参加者1万人を超える大規模な第70回日本透視医学会を開催できたことはエリアMICEならではの成果であり、評価できる。引き続き、同様の取組みを進められたい。 独自の支援制度やネットワークを活用して、会議誘致に繋げることができたと認められる。 関係施設との協議やイベントの共催を通して、連携が進められている。 政府系国際会議や国際団体の会議を複数開催することができている。今後も各種会議の誘致に努めていただきたい。	A A A	
(4)サービス向上を図るための取り組み内容、手法及び実現可能性	○ 利用者（主催者・来場者）サービスの向上、満足度を高めるための取組みが適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 飲食、物販、ケータリングなどのサービス事業の取組みが適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 施設をPRする取組みが適切に実現されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：B】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 利用者（主催者・来場者）にとって魅力的な自主事業が適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	・快適で魅力あふれるOICC実現のため、利用者満足度向上に向けて引き続き利用者からのヒアリングやアンケート、来場者からのご意見やご要望等を踏まえた対応を行うとともに、利用者サービス向上等を検討する「s-OICC委員会」「e-OICC委員会」を開催するなど全社一丸となってお客様満足度の向上を図った。 ・大阪観光局、ホテル、交通事業者等と連携して、オール大阪で大阪・中之島の魅力向上のための取組みを進めた。 ・10階のロビー、ホワイエ及び廊下のタイルカーペットについて、既存カーペットと同系色で全面張替えを行った。また、イベントホールのタイルカーペットは、特別清掃を行い、本来のスタイリッシュな色合いを取り戻した。 また、当会議場の「顔」とも言える、1階入口正面に設置しているデジタルサイネージ（電光掲示板）の更新と、リーガロイヤルホテル側入口近くの壁面へのデジタルサイネージの新設について、検討を進めた。 ・弁当やケータリングについては、お客様から厳しい評価をいただくこともあり、提供元のリーガロイヤルホテルとの2ヶ月ごとの会議でお客様の声を届け、その改善を求めた。弁当については、発注先を増やして、選べる種類や価格帯にバリエーションを持たせることができるようホテル側に要請した。（現在、ホテル側にて検討中） ・催事の合間の休憩時間などに簡単につまめるリフレッシュメント（菓子類）の提供も開始した。 ・専門家から助言をいただきつつ、WEBマーケティングに継続的に取り組んでおり、10月から12月における受注数のうち、新規顧客扱いの催事は約14%を占めた。 ・ホームページ等によりお客様へのタイムリーな情報提供に努めるとともにSNSでの発信を強化し、多くのフォロワーを確保した（インスタグラム458件）。 ・「イケフェス（生きた建築ミュージアムフェスティバル）」に今年度も参加し、10月26日に例年のガイドツアー3回開催に加えて、特別イベントとしてトークセミナー「グランキューブ大阪に見る黒川紀章の思想（講師：大阪公立大学 倉方俊輔教授）」を開催した。参加者から高い評価をいただいた。	A A A	満足度向上に向けた社内での検討会の結果としてタイルカーペットの張替えなど、利用者満足度を高めるための取組みができています。 引き続き、サービス向上に関する取組成果については、積極的に利用者や各営業先へPRし、継続して魅力向上に努めていただきたい。 利用者の声を受けて、委託事業者と協力し、弁当やケータリングの改善を進めていることは評価できる。引き続き、利用者の満足度向上に向けて、取り組んでいただきたい。 昨年度に引き続き、WEBマーケティングに取り組んだ結果、新規件数の割合も増えているとのことで、取組成果が出ていると認められる。 「中之島パビリオンフェスティバル」や「イケフェス」に参画するなど、自主事業が実施できている。	A A A	・5階の食堂について、国際会議の誘致の観点から、あり方を考えるべき。 特色のある食堂の設置、学会前の発表練習用のスペースとしての活用のほか、飲食にこだわらず、代替機能は他の階にあるのであれば、食堂をなくし、会議・催事の間の休憩スペースにするなど、次期指定管理期間に向け、方向性を定めてほしい。 ・ホームページが見やすくなったのは良かった。 国際会議が開催される場所として大阪をPRしたり、学会等の開催で大阪を選んだ理由を聞いて営業に活用したりして、次の開催に向け、さらに繋げてほしい。

(5)機能向上のための取組内容	○ 機能向上のための取組みが適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	別紙「機能強化費執行状況」のとおり。	A	利用者の安全、安心、満足度向上に向けた機能向上のため、駐車場案内表示のLED化工事など、会議場の機能強化につながる取組みがされている。	A	評価がしやすいように、第三四半期の実績に比べ、年度末時点の執行見込についても、資料へ記載されたい。				
(6)施設・設備・備品等の維持管理の内容、適格性及び実現可能性	○ 維持管理の役割分担に基づき、適切に実施されたか ○ 施設、設備、備品等の安全管理・安全対策が適切に実施されたか ○ 施設、設備、備品等の改修、修繕、更新が適切に実施されたか ○ 効率的、計画的に適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	別紙「修繕費執行状況」のとおり。	A	防火シャッターの改修工事や消火設備の取替工事など、安全確保を最優先に、計画立てて、必要な維持修繕は実施できている。	A	評価がしやすいように、第三四半期の実績に比べ、年度末時点の執行見込についても、資料へ記載されたい。				
(7)府施策との整合	■以下の取組みが適切に実施されたか ○ 府や公益事業への協力等 ・ 2 0 2 5 大阪・関西万博を契機とした会議の誘致や自主事業の企画等 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 行政の福祉化 ・就職困難者の雇用・就労支援 ・障がい者実雇用率 ・知的障がい者の清掃現場就業状況 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 府民・NPOとの協働 ・地域団体等との協働事業 ・中之島の地域活性化に向けた自主事業の企画 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 環境問題への取組み 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	・ 2025大阪・関西万博を契機に会議やビジネス交流会が当会議場で開催された。具体的な取組みは、1－（3）で記載の通り。 なお、11月には、関西万博の警備に協力したことにより、大阪府警察本部長名の感謝状が授与された。 ・ 2025大阪・関西万博と連動して中之島地域の魅力をさらに高めるため、「中之島パビリオン・フェスティバル2025」を開催した（再掲）。 ・ 就職困難者の雇用については、2021年5月から母子家庭等就業・自立支援センターの紹介を経て1名採用している。 ・ 知的障がい者の雇用については、清掃業務の再委託先と契約を締結し、勤務時間、人数等に合った訓練場所、機会の提供に努めた。また、植栽の水やりや手入れの委託先についても同様の内容で契約している。 ・ 地域との共生の取組みとしては、「イケフェス（生きた建築ミュージアムフェスティバル）」に参加した（具体的な取り組みは1－（4）に記載のとおり。）ほか、10月には中之島連合振興町会の観月会、12月には同会のもちつき大会に協力した。 ・ SDGsの推進については、当社の「サステナビリティ方針」に基づく「重要課題（マテリアリティ）」のKPI（成果測定指標）について、進捗を管理した。	A	今年度は万博を契機とした国際会議や国際的なイベントを開催にあたり、臨機応変に行政機関等からの要請に対応するなど協力的な取組みが行われた。 また、自主事業として「中之島パビリオンフェスティバル」を開催するなど、地域の魅力向上に繋がる取組みも実施された。	A	昨年度に引き続き、就職困難者の雇用が行われている。引き続き、継続的な雇用の確保に努められたい。	A	地域団体との協働事業や中之島の地域活性化に向けた自主事業に適切に取り組んでいる。	A	SDGs推進については、SDGs対応コーヒーの導入など、定めた方針に基づいて、適切に取り組んでいる。

Ⅱ

評価項目		評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言																																																						
Ⅱ さらなるサービスの向上に関する項目	(1)利用者満足度調査等	○ 利用者満足度に係るアンケート調査等が適切に実施されたか ・ 催事主催者等会議場利用者の再利用の意向の割合 (単位：％) <table><tr><td>年度</td><td>H31 2019</td><td>R2 2020</td><td>R3 2021</td><td>R4 2022</td><td>R5 2023</td><td>R6 2024</td><td>R7 2025</td><td>R10 2028</td></tr><tr><td>指定管理提案時目標 (R6年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>98.0</td></tr><tr><td>年度目標</td><td>98.0</td><td>98.7</td><td>98.9</td><td>98.9</td><td>98.9</td><td>98.0</td><td>98.0</td><td>-</td></tr><tr><td>実績</td><td>98.7</td><td>98.3</td><td>95.8</td><td>96.2</td><td>98.0</td><td>100.0</td><td>96.8</td><td>-</td></tr></table> <table><tr><td>年度</td><td>H31 2019</td><td>R2 2020</td><td>R3 2021</td><td>R4 2022</td><td>R5 2023</td><td>R6 2024</td><td>R7 2025</td><td>R10 2028</td></tr><tr><td>回収率実績</td><td>71.0</td><td>77.2</td><td>71.5</td><td>26.6</td><td>19.9</td><td>15.8</td><td>15.0</td><td>-</td></tr></table> 再利用・・・再利用の意向について、全体の内「たいへん思う」「思う」の回答の割合 過年度評価：R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：B】	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R10 2028	指定管理提案時目標 (R6年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	98.0	98.0	-	実績	98.7	98.3	95.8	96.2	98.0	100.0	96.8	-	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R10 2028	回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	15.8	15.0	-	・ 2025年度第3四半期 満足度調査 再利用 96.8％ 平均 96.4％ (「平均」…「施設」「備品」「スタッフの対応」「再利用」にかかる満足度の平均) (参考) 2025年度(4月～12月)：配布413件、回答62件 2024年度：配布761件、回答120件 2023年度(4月～11月)：配布548件、回答107件 2022年度：配布693件、回答185件 ・ 特に施設利用料100万円以上の催事主催者に対して、当社の催事担当者が催事終了時に直接ヒアリングを行う取り組みを2024年から実施している。利用者の満足度向上のみならず、今後の営業活動にも活用している。 2025年度第3四半期 お客様の声取得率 100.0％ (参考) 2025年度(4月～12月)：対象281件、取得281件 2024年度：対象289件、取得265件	B	満足度調査の目標（再利用の意向の割合）はわずかに未達成となった。引き続き、目標達成に向けて満足度向上に努められたい。 また、アンケートの回収率が向上するような取組みは、継続して努められたい。 一方で、2024年度から実施している一部の催事主催者からの直接ヒアリングは、利用者の満足度向上や営業活動に活用しているとのことで、この取組みは評価できる。	B	WEB化によるアンケート回収率の低下はやむを得ないが、引き続き、回収率を上げるための取組みは実施されたい。 直接ヒアリングにおいて取得した定性的なデータは、今後の管理運営業務に活用いただきたい。 また、顧客の声について、どのような意見があり、どのような改善や対応を実施したかについて、評価票へ記載をお願いしたい。
	年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R10 2028																																																				
指定管理提案時目標 (R6年度以降は 中期経営計画 (改定後)目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0																																																					
年度目標	98.0	98.7	98.9	98.9	98.9	98.0	98.0	-																																																					
実績	98.7	98.3	95.8	96.2	98.0	100.0	96.8	-																																																					
年度	H31 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R10 2028																																																					
回収率実績	71.0	77.2	71.5	26.6	19.9	15.8	15.0	-																																																					
(2)その他創意工夫	○ 創意工夫を持って、提案内容以外の取組みが実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】	・ 周辺地域の美化を進めるため、「美化強化デー」を引き続き実施した。 ・ 国連UNHCR協会による国連難民支援キャンペーンに協力したことに対し、同協会から感謝状を授与された。 ・ 万博閉幕後もホテルの宿泊料金が高止まりしていることから、催事の参加者や運営スタッフにリーズナブルなホテルを斡旋できるよう、既に提携済みのホテルNCBに加え、他のホテルとの連携も検討した。	A	周辺の美化活動の実施等により地域貢献を行う一方、国連難民支援キャンペーンに協力するなど、サービス向上の取組みに加えて、社会貢献に繋がる取組みを行っていることは評価できる。	A																																																								

Ⅲ

評価項目		評価基準（内容） ＜取組内容とその効果等＞								指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言																																																								
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	○ 収支計画に則して適切に運営されたか ・ 指定管理提案時目標（R6年度以降は中期経営計画（改定後）目標）（百万円）								・ 2025年度第3四半期 収支実績 売 上 1,993百万円 営業費用 1,657百万円 営業利益 336百万円 受取利息等 32百万円 経常利益 368百万円 ・ 2025年度末見込 収支実績（1月末） 売 上 2,538 百万円 営業費用 2,257 百万円 営業利益 281百万円 受取利息等 41百万円 経常利益 322百万円 ・ 国内で開催件数が多い自然科学系の国際学術会議の誘致に向けて、営業活動を強化した。具体的には、関西エリア8大学の自然科学系の教授を対象に電話でアプローチした。収集した情報の中から誘致の可能性のある催事を抽出し、訪問等の営業活動に努めた。 ・ 効率的な催事運営に努めた結果、時間外勤務手当等が計画より減少した。また、エネルギーコスト抑制のため、お客様のニーズに応じつつ適正な室温管理を徹底したことなどにより、水道光熱費が昨年度を下回った。 さらに、広告宣伝費や、支払手数料等の会社諸経費の節減にも努めた。	S	売上高は、2024年度からの利用料金の引上げの効果が表れているほか、売上単価の高い中規模・大規模の催事に注力した結果もあり、中期経営計画の目標を大きく上回り、年度目標近くに達する見込み。 一方で、営業費用は、昨今の人件費や物価上昇等で運営経費が増加すると想定される中、様々な取組みにより費用削減に努めた。 その結果、営業利益及び経常利益は、中期経営計画目標を大きく上回り、年度目標も達成する見込みとなった。 引き続き、年度目標達成に向けて、取組みを進めていかれたい。	S																																																									
		<table><tr><th>年度</th><th>H31(2019)</th><th>R2(2020)</th><th>R3(2021)</th><th>R4(2022)</th><th>R5(2023)</th><th>R6(2024)</th><th>R7(2025)</th><th>R10(2028)</th></tr><tr><td>売上</td><td>2,285</td><td>2,409</td><td>2,421</td><td>2,432</td><td>2,465</td><td>2,081</td><td>2,269</td><td>2,347</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>2,254</td><td>2,373</td><td>2,385</td><td>2,397</td><td>2,414</td><td>2,208</td><td>2,290</td><td>2,311</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>31</td><td>36</td><td>36</td><td>35</td><td>51</td><td>▲127</td><td>▲21</td><td>37</td></tr><tr><td>受取利息等</td><td>36</td><td>32</td><td>26</td><td>24</td><td>24</td><td>27</td><td>27</td><td>27</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>67</td><td>68</td><td>62</td><td>59</td><td>75</td><td>▲99</td><td>6</td><td>64</td></tr></table>													年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R10(2028)	売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,081	2,269	2,347	営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,208	2,290	2,311	営業利益	31	36	36	35	51	▲127	▲21	37	受取利息等	36	32	26	24	24	27	27	27	経常利益	67	68	62	59	75	▲99	6	64		
		年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)						R10(2028)																																																							
		売上	2,285	2,409	2,421	2,432	2,465	2,081	2,269						2,347																																																							
		営業費用	2,254	2,373	2,385	2,397	2,414	2,208	2,290						2,311																																																							
		営業利益	31	36	36	35	51	▲127	▲21						37																																																							
		受取利息等	36	32	26	24	24	27	27						27																																																							
		経常利益	67	68	62	59	75	▲99	6						64																																																							
		・ 年度当初の目標（百万円）																																																																				
		<table><tr><th>年度</th><th>H31(2019)</th><th>R2(2020)</th><th>R3(2021)</th><th>R4(2022)</th><th colspan="2">R5(2023)</th><th>R6(2024)</th><th>R7(2025)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4～11</td><td>通年</td><td></td><td></td></tr><tr><td>売上</td><td>2,285</td><td>607</td><td>1,571</td><td>1,840</td><td>1,455</td><td>1,558</td><td>2,081</td><td>2,558</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>2,254</td><td>1,916</td><td>1,885</td><td>2,087</td><td>1,444</td><td>2,237</td><td>2,208</td><td>2,321</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>31</td><td>▲1,309</td><td>▲314</td><td>▲246</td><td>11</td><td>▲679</td><td>▲127</td><td>236</td></tr><tr><td>受取利息等</td><td>36</td><td>22</td><td>20</td><td>22</td><td>19</td><td>27</td><td>27</td><td>34</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>67</td><td>▲1,287</td><td>▲293</td><td>▲223</td><td>30</td><td>▲652</td><td>▲99</td><td>271</td></tr></table>													年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)						4～11	通年			売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558	2,081	2,558	営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237	2,208	2,321	営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679	▲127	236	受取利息等	36	22	20	22	19	27	27	34	経常利益	67
年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)																																																														
					4～11	通年																																																																
売上	2,285	607	1,571	1,840	1,455	1,558	2,081	2,558																																																														
営業費用	2,254	1,916	1,885	2,087	1,444	2,237	2,208	2,321																																																														
営業利益	31	▲1,309	▲314	▲246	11	▲679	▲127	236																																																														
受取利息等	36	22	20	22	19	27	27	34																																																														
経常利益	67	▲1,287	▲293	▲223	30	▲652	▲99	271																																																														
・ 実績（百万円） (R7年度は年度末見込)																																																																						
<table><tr><th>年度</th><th>H31(2019)</th><th>R2(2020)</th><th>R3(2021)</th><th>R4(2022)</th><th colspan="2">R5(2023)</th><th>R6(2024)</th><th>R7(2025)</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4～11</td><td>通年</td><td></td><td></td></tr><tr><td>売上</td><td>2,163</td><td>952</td><td>2,603</td><td>1,928</td><td>1,402</td><td>1,520</td><td>2,257</td><td>2,538</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>2,127</td><td>1,835</td><td>2,312</td><td>2,162</td><td>1,521</td><td>2,253</td><td>2,233</td><td>2,257</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>36</td><td>▲883</td><td>291</td><td>▲233</td><td>▲119</td><td>▲733</td><td>24</td><td>281</td></tr><tr><td>受取利息等</td><td>36</td><td>30</td><td>28</td><td>36</td><td>18</td><td>34</td><td>50</td><td>41</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>74</td><td>▲852</td><td>316</td><td>▲198</td><td>▲101</td><td>▲700</td><td>74</td><td>322</td></tr></table>								年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)						4～11	通年			売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	1,520	2,257	2,538	営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	2,253	2,233	2,257	営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	▲733	24	281	受取利息等	36	30	28	36	18	34	50	41	経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	▲700	74	322
年度	H31(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)		R6(2024)	R7(2025)																																																														
					4～11	通年																																																																
売上	2,163	952	2,603	1,928	1,402	1,520	2,257	2,538																																																														
営業費用	2,127	1,835	2,312	2,162	1,521	2,253	2,233	2,257																																																														
営業利益	36	▲883	291	▲233	▲119	▲733	24	281																																																														
受取利息等	36	30	28	36	18	34	50	41																																																														
経常利益	74	▲852	316	▲198	▲101	▲700	74	322																																																														
過年度評価：R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：B 所管課：B】 R6年度【指定管理者：A 所管課：S】																																																																						

(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	○ 総務、施設管理、営業等の各部門に必要な人員が適切に配置されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 職員の採用、確保が適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：B 所管課：B】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 職員の指導育成、研修が適切に実施されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 ○ 職員の勤務形態、勤務条件が適正に確保されたか 過年度評価：R4年度【指定管理者：A 所管課：A】 R5年度【指定管理者：A 所管課：A】 R6年度【指定管理者：A 所管課：A】 【参考値】部門別従業員配置（R7年12月） <table><tr><th rowspan="2">部門</th><th colspan="2">配置数（人）</th></tr><tr><th>プロパー</th><th>全社</th></tr><tr><td>総務管理・経営企画</td><td>5</td><td>10</td></tr><tr><td>国際会議等誘致</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>予約・催事運営</td><td>11</td><td>14</td></tr><tr><td>合計</td><td>24</td><td>32</td></tr></table> （総務企画担当部長は総務管理・経営企画に含む。派遣、委託、パートを除く。）	部門	配置数（人）		プロパー	全社	総務管理・経営企画	5	10	国際会議等誘致	8	8	予約・催事運営	11	14	合計	24	32	・社員の退職に応じて、速やかに必要な人員を採用するように努めている。 ・研修については、新規採用者に適切に採用時研修を実施したほか、大阪のMICE関係者向け研修会である「大阪MICEアカデミー」では大阪国際交流センターと大阪新歌舞伎座を視察し、知見を深めた。 ・社員による自主的な英語の勉強会は、月2回、継続して実施されている。 ・健康経営優良法人（中小企業法人部門）について、昨年に引き続き、申請を行った。 ・12月にはストレスチェックを実施、希望する高ストレス者には医師の面談を予定している。 ・営業担当社員が外出先で、日報入力やメールチェックが行えるよう、携帯電話に替え、スマートフォンを支給した。これにより、事務作業のため帰社する必要がなくなり、お客様への応接時間が増加し、タイムリーな訪問が実施できるなど、生産性が上がった。	A
	部門		配置数（人）																	
プロパー		全社																		
総務管理・経営企画	5	10																		
国際会議等誘致	8	8																		
予約・催事運営	11	14																		
合計	24	32																		

【その他】 ・次回の評価委員会において、年度末実績について、見込との差異があれば、説明されたい。
--